

# 地域連携センター一年報

## 第9号（平成27年度）



**愛知県立大学**

AICHI PREFECTURAL UNIVERSITY



## 公立大学の地域連携とは

地域連携センター長 吉川雅博

平成 27 年度より地域連携センター長を拝命した。社会福祉学科に所属する教員が地域連携センター長に就任するのは本学としては初めてのことである。個人的には、愛知県内の福祉関係の法人の理事長や監事などとして地域に関わってきた。また、行政の審議会委員として愛知県や名古屋市、長久手市などにも関わっている。

現在の日本では自治会の機能が低下し、隣近所の関係も希薄になり、地域が崩壊し始めているともいわれている。社会福祉の分野では、福祉対象者の「地域生活」が大きな課題となっている。だれもが住み慣れた町で暮らしたい。他人と一緒に暮らす入所施設には入りたくない。団塊の世代（約 800 万人）が 75 歳以上となる 2025 年(平成 37 年)以降は、国民の医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれている。このため、厚生労働省においては、2025 年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的の下で、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進している。このように「地域」は、現在のわが国では重要なキーワードとなっている。

このような状況の下、平成 27 年度の大学としての地域連携は、学術講演会や公開講座などの開催が主であった。大小いろいろなイベントを開催し、多くの方に参加いただいた。学術講演会や公開講座の開催は、大学としては定番の地域貢献であろう。学術講演会や公開講座以外で、愛知県立大学はどのように地域と関わるべきなのか。

平成 26 年 12 月に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で、大学の地域貢献の具体的な内容として例示されている内容のうち、本学の地域連携として実現性があり、公立大学として意義のある取り組みと考えられるものは、以下の 2 つの取組であると考えている。

- 地元の地方公共団体や企業等と連携した取り組みを強化することにより、地域産業を担う高度な専門的職業人材の育成や地元企業に就職する若者を増やすとともに、地域産業を自ら生み出す人材を創出する。
- 大学における、地元企業や官公庁と連携した教育プログラムの実施

大学の得意分野は人材育成や共同研究である。上記の取組に学生にも関わらせ、社会に通用する人材を育成したい。最近の大学は、講義を 90 分間ただ聞くだけという授業が減りつつある。学習を能動的なものとして規定し、知識の暗記にみられる受動的なものを脱却し、自ら問題を発見し解決していく能力を伸ばすことを目的とした授業も増えてきている。授業の一環で学生が学外に出て社会の問題を発見し、その問題の解決を考える。学外で行う

授業を行うためには、地域のいろいろな社会資源と連携する必要がある。学外での実習のような体験は、学生が実社会に入るための予行演習である。一方、大学生を受け入れる側も大学生と接することで新たな視点や発想に気づかされるなどメリットはある。愛知県内の地方公共団体や企業等のみならず、大学生の学外活動プログラムへの参画について、ぜひご検討いただければ幸いである。

平成 28 年度地域連携センターでは、「地域連携研究シーズ集」を作成し、愛知県や他の自治体、産業界等に配布・周知することを予定している。この「地域連携研究シーズ集」は、地域連携センターが、学外ニーズと学内シーズのマッチングを行うため、平成 27 年度末より稼働予定の「研究者データベース」に掲載されている情報を活用し、各教員の研究分野や研究課題、研究キーワード等の情報を掲載する。また、自由記述欄を設け、各教員による研究内容の詳細な紹介文や研究内容を想起させる写真や図版を掲載する。この「地域連携研究シーズ集」を多くの方にご利用いただきマッチングを促進したい。



## 報告書目次

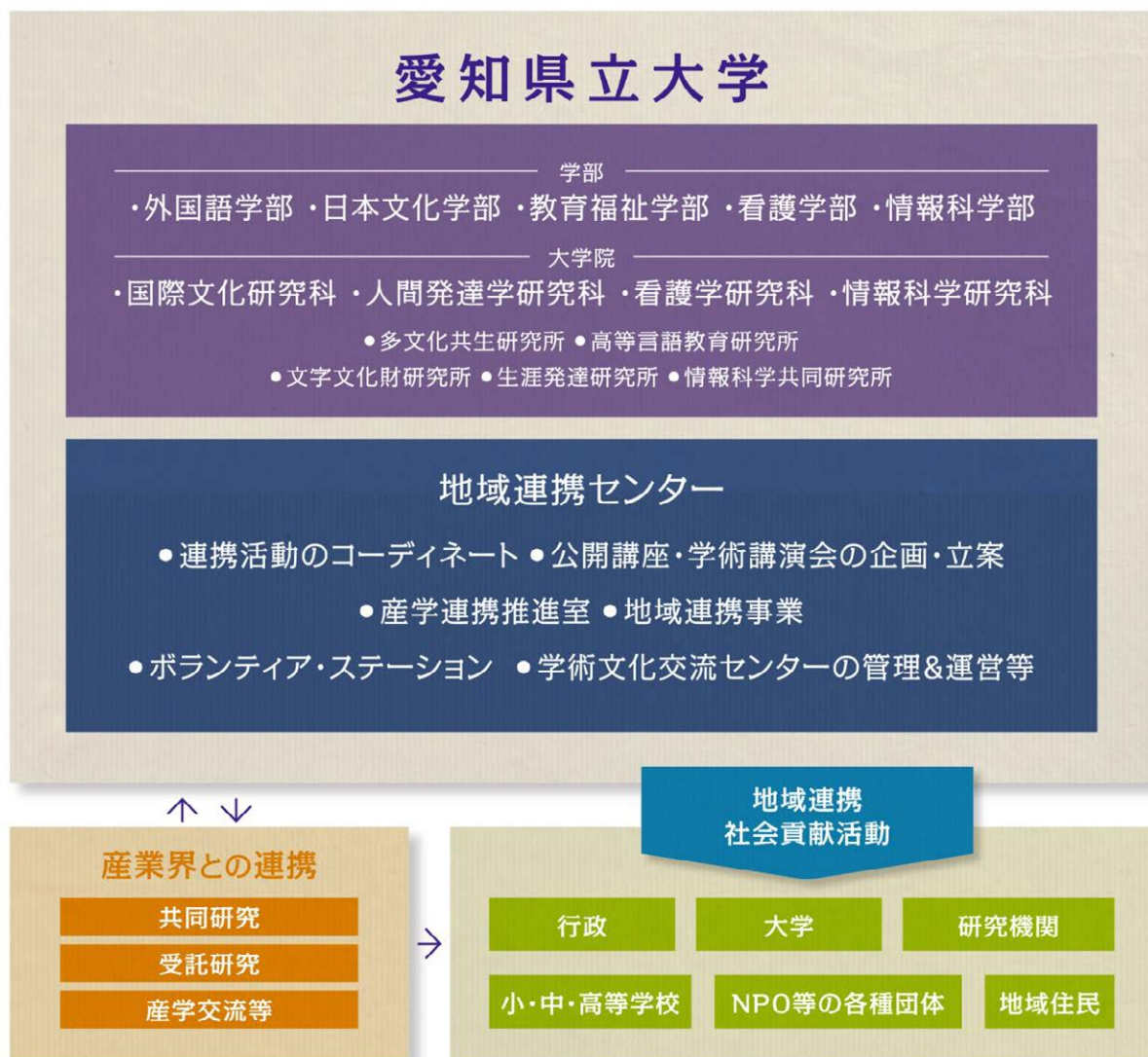
1	組織と運営	1
2	地域連携センター・産学連携推進室・ 公開講座企画運営委員会	2
3	地域連携センター活動状況	9
4	活動実績	
	【地域の課題解決を目指す】	
(1)	自治体等への委員推薦及び講師派遣等に関する コーディネート実績	12
	【地域を支える人材の育成】	
(1)	学術講演会	15
(2)	公開講座	17
(3)	OB・OG教員による講座「県大アゲイン」	19
(4)	地域連携事業	21
(5)	高大連携事業	53
(6)	あいち地域づくり連携大学	58
(7)	愛知県地域づくり活動フォーラム	59
	【地域の多様な団体との連携】	
(1)	長久手市大学連携推進協議会への参加	60
(2)	産業界との連携事業	61
5	参考資料	80



## 1. 組織と運営

### 地域連携センター紹介

○地域連携活動を推進する愛知県立大学の総合的な窓口として、次のような業務を行っています。



## 2. 地域連携センター・産学連携推進室・公開講座企画運営委員会

### 愛知県立大学地域連携センター規程

(趣旨)

第1条 この規程は、愛知県立大学学則第6条の規定に基づき設置される地域連携センター(以下「センター」という。)の運営に関する基本的事項について定めるものとする。

(目的)

第2条 センターは、地域連携活動を円滑かつ組織的に推進することを目的とする。

(組織)

第3条 センターの下に産学連携推進室を置く。

(業務)

第4条 センターは、その目的を達成するために、次に掲げる業務を行う。

- (1) 行政との連携に関すること。
- (2) 他大学・研究機関等との連携に関すること。
- (3) 産業界との連携に関すること。
- (4) 小・中・高等学校との連携に関すること。
- (5) NPO等各種団体との連携に関すること。
- (6) 学術講演会、公開講座の企画・立案・実施に関すること。
- (7) 学術文化交流センターの管理・運営に関すること。
- (8) その他センター長が適当と認めた業務

(センター長)

第5条 センターに、センター長を置く。

- 2 センター長は、学長の命を受け、センターの業務を掌理する。
- 3 センター長の任期は、2年とする。ただし、任期の途中でセンター長が交替した場合は、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 センター長に事故がある場合は、センター長が予め指名したセンター長補佐がセンター長の職務を代理する。

(センター長補佐)

第6条 センターに、センター長補佐を置くことができる。

- 2 学長は、センターの運営に必要と判断した場合、センター長と協議の上、センター長補佐を指名することができる。
- 3 センター長補佐は、センター長の命を受け、センター長の職務を補佐する。
- 4 センター長補佐の任期は、2年とする。ただし、任期の途中でセンター長補佐が交替した場合は、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(センター運営会議)

第7条 センターの業務を円滑に運営するため、センター運営会議を置く。

- 2 センター運営会議は次の者をもって組織し、議長はセンター長をもって充てる。
  - (1) センター長
  - (2) 看護実践センター長

- (3) センター長補佐
- (4) 産学連携推進室長
- (5) 学術情報部長
- (6) その他センター長が必要と認めた者

3 運営会議はセンター長が召集する。

(委員会)

第8条 第4条第6号の業務に係る重要な事項について審議するため、公開講座企画運営委員会を置く。

2 前項の委員会に関して必要な事項は、別に定める。

(産学連携推進室)

第9条 産学連携推進室(以下「推進室」という。)は、第4条第3号の規定による業務を推進する。

2 前項の推進室に関して必要な事項は、別に定める。

(庶務)

第10条 センターの庶務は、研究支援・地域連携課で行う。

(補則)

第11条 この規程に定めるセンターの運営に関し必要な事項は、学長が定める。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

平成27年度 地域連携センター運営会議構成員名簿

所 属	氏 名
議長（地域連携センター長）	吉 川 雅 博
看護実践センター長	柳 澤 理 子
地域連携センター長補佐	亀 井 伸 孝
地域連携センター長補佐	中 根 千 絵
地域連携センター長補佐	田 村 佳 子
地域連携センター長補佐	大久保 弘 崇
産学連携推進室長	小 栗 宏 次
学術情報部長	秋 田 敏

地域連携センター庶務

所 属	氏 名
研究支援・地域連携課長	森 部 盛 司
研究支援・地域連携課係長	三 宅 貴 子
研究支援・地域連携課主事	大 田 なぎ砂
研究支援・地域連携課	山 崎 智 夫

## 愛知県立大学産学連携推進室要綱

(趣旨)

第1 この要綱は、愛知県立大学地域連携センター規程第3条に基づき、地域連携センター（以下「センター」という。）に設置する産学連携推進室（以下「推進室」という。）について、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2 推進室は、産学連携活動を円滑かつ組織的に推進することを目的とする。

(業務)

第3 推進室は、その目的を達成するために、次に掲げる業務を行う。

- (1) 産学連携を推進する事業の企画・実施及び広報
- (2) 共同研究等の窓口業務
- (3) 知的財産に関する支援業務
- (4) その他室長が必要と認める業務

(組織)

第4 推進室は、次の者をもって組織する。

- (1) 室長
- (2) 地域連携センター長
- (3) 地域連携センター長補佐
- (4) 情報科学部選出教員
- (5) 室長が指名する事務職員
- (6) その他室長が必要と認めた者

2 室長は、地域連携センター長が前項第2号から第4号に掲げる者の中から指名する。

(顧問)

第5 推進室に、顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、産学連携に高い見識を有する学外者の中から地域連携センター長が委嘱する。
- 3 顧問は、推進室の活動に対して助言を行うとともに、学外の機関等との渉外にあたる。
- 4 顧問の任期は、1年とし、再任を妨げない。

(庶務)

第6 推進室の庶務は、庶務課の協力を得て研究支援・地域連携課が担当する。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

平成27年度 産学連携推進室運営会議構成員名簿

所 属	氏 名
室長（情報科学部選出）	小 栗 宏 次
地域連携センター長	吉 川 雅 博
地域連携センター長補佐	亀 井 伸 孝
地域連携センター長補佐	中 根 千 絵
地域連携センター長補佐	田 村 佳 子
地域連携センター長補佐	大久保 弘 崇
看護実践センター長	柳 澤 理 子
事務職員（学術情報部長）	秋 田 敏
事務職員（研究支援・地域連携課長）	森 部 盛 司
事務職員（研究支援・地域連携課係長）	三 宅 貴 子
事務職員（研究支援・地域連携課主事）	大 田 なぎ砂
事務職員（研究支援・地域連携課）	山 崎 智 夫



## 愛知県立大学公開講座企画運営委員会規程

### (趣 旨)

第1条 この規程は、地域連携センター（以下「センター」という。）に設置する公開講座企画運営委員会（以下「委員会」という。）について、地域連携センター規程第9条第2項の規定に基づき、必要な事項を定めるものとする。

### (審議事項)

第2条 委員会は、次の事項を審議する。

- (1) 公開講座の企画・立案・実施に関すること
- (2) 学術講演会の企画・立案・実施に関すること
- (3) その他公開講座及び学術講演会に関すること

### (組 織)

第3条 委員会は、次の委員をもって組織する。

- (1) 地域連携センター長
  - (2) 地域連携センター長補佐
  - (3) 各学部及び各大学院研究科から選出された者（学部・研究科の双方を兼ねる。） 各1名
  - (4) 地域連携センター長が指名する事務職員
- 2 委員会に、委員長を置き、地域連携センター長をもって充てる。
- 3 委員の任期は、1年とする。

### (会議及び運営)

第4条 委員長は、会議を招集し、その議長となる。

- 2 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代理する。
- 3 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。
- 4 会議の議事は、出席者の過半数の同意をもって決することとし、可否同数のときは、議長の決するところによる。

### (委員以外の者の出席)

第5条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を認めることができる。

### (庶 務)

第6条 委員会の庶務は、研究支援・地域連携課が担当する。

### 附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

### 附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

平成27年度 公開講座企画運営委員会委員名簿

所 属	氏 名
委員長（地域連携センター長）	吉 川 雅 博
地域連携センター長補佐 （兼外国語学部選出委員）	亀 井 伸 孝
地域連携センター長補佐	中 根 千 絵
地域連携センター長補佐 （兼教育福祉学部選出委員）	田 村 佳 子
地域連携センター長補佐 （兼情報科学部選出委員）	大久保 弘 崇
日本文化学部選出	福 沢 将 樹
看護学部選出	広 瀬 会 里
事務職員（学術情報部長）	秋 田 敏
事務職員（研究支援・地域連携課長）	森 部 盛 司
事務職員	三 宅 貴 子
事務職員	大 田 なぎ砂
事務職員	山 崎 智 夫

### 3. 地域連携センター活動状況

月日		運営会議・委員会等	行事・活動
4月	21日	第1回センター運営会議・産学連携推進室運営会議	
	27日	第1回長久手市大学連携推進協議会	
5月	9日		地域連携事業「戦争・社会福祉・人権」
	11日		地域連携事業「Compassion in action:Be the change you want to see in the world」
	12日	第2回センター運営会議・産学連携推進室運営会議	第4回APU情報科学セミナー
	15日	第1回公開講座企画運営委員会	
	27日		地域連携事業「紛争なき未来へ ～コロンビア・先住民族の声を聴く 紛争・故郷・生きるための知恵」
6月	2日		学術講演会「コロンビアの大統領選挙(2014)と和平交渉の行方」
	3日		長久手市商工会PC講習会、瀬戸商工会議所PC講習会
	9日	第3回センター運営会議・産学連携推進室運営会議	地域連携事業「Looking East for Ethics」
	11日		地域連携事業「What do you see?」
	19日		第5回APU情報科学セミナー
	22日		地域連携事業「Spreading HOPE Around the World:From Poverty to Self Reliance」
	29日		地域連携事業「アフリカ:民主主義・開発・統治」
7月	6日		地域連携事業「JICAボランティアセミナー～国際協力というシゴト～」
	8日		地域連携事業「東北へ、行こう」
	11～12日		地域連携事業「モリコロパーク夏まつり ロボット展示」
	14日	第4回センター運営会議・産学連携推進室運営会議	
	16日		地域連携事業「ネパール大地震、その後:コミュニティの結合、社会変容、そして復興」
	21日		第6回APU情報科学セミナー
	21日～25日		地域連携事業「はじめてのインドネシア語講座」、「もっと知りたいインドネシア語講座」
	25日		地域連携事業「21世紀の東アジアと日本、愛知を考える」
8月	4～8日		知の探究講座(前期)
	7日		地域連携事業「インドネシア現地経済事情講習会」
	27日		名古屋市立大学との情報交換会
9月	6日		OB・OG教員による公開講座「県大アゲイン」(第1回)
	8日	第5回センター運営会議・産学連携推進室運営会議	
	13日		OB・OG教員による公開講座「県大アゲイン」(第2回)
	18日		地域連携事業「企業と大学による教育実践FSP(Future Skills Project)」
	27日		OB・OG教員による公開講座「県大アゲイン」(第3回)

月日	運営会議・委員会等	行事・活動
10月	4日	OB・OG教員による公開講座「県大アゲイン」(第4回)
	7日	あいち地域づくり連携大学(第1回)
	7~11日	CEATEC JAPAN2015愛知県ブースへの出展(地域連携事業・産業界との連携事業)
	10日	地域連携事業「ボランティア日本語教室の活動計画を作ってみよう」
	15日	第6回センター運営会議・産学連携推進室運営会議
	19日	学術講演会「アフリカでのコップ一杯の水の価値発見から琵琶湖保全へ～学者40年・滋賀県知事8年の経験から伝えたいこと～」
	21日	あいち地域づくり連携大学(第2回)
	24日	公開講座(第1回)
	28日	第2回長久手市大学連携推進協議会
	31日	地域連携事業「愛知県立大学世界史セミナー第1回」、知の探究講座(後期)
11月	5日	第7回センター運営会議・産学連携推進室運営会議
	7日	公開講座(第2回)、知の探究講座(後期)
	14日	知の探究講座(後期)
	11日	あいち地域づくり連携大学(第3回)
	11日~12日	フロンティア21エレクトロニクスショー2015への出展
	18日	地域連携事業「平成27年度名古屋・東海地区外務省セミナー「学生と語る」」
	20日~23日	あいちITSワールド2015への出展
	25日	あいち地域づくり連携大学(第4回)
	28日	公開講座(第3回)
12月	3日	第8回センター運営会議・産学連携推進室運営会議 第2回公開講座企画運営委員会
	12日	公開講座(第4回)
	12日	地域連携事業「山寺をめぐる道と山寺に遺された書物—地方の文化遺産から見えるもの」
	16日	第7回APU情報科学セミナー
	19~20日	第8回APU情報科学セミナー
1月	7日	第9回センター運営会議・産学連携推進室運営会議
	9日	「知の探究講座」全体発表会
	10日	地域連携事業「愛知県史と愛知文化遺産—県史活用の時代へ—」
	22日	地域連携事業「イギリスの帝国支配—インドとの関係を中心に」 (愛知県立大学・名古屋市立大学連携事業)
	28日	第9回APU情報科学セミナー(地域連携事業)「Japan's performance paradox」
	29日	愛知県地域づくり活動フォーラム

月日	運営会議・委員会等	行事・活動
2月	4日	第10回センター運営会議・産学連携推進室運営会議
	11日	地域連携事業「そして5年 3.11が私たちに託した狂おしい現実」
	16日	第10回APU情報科学セミナー
	27日	地域連携事業「愛知県立大学世界史セミナー第2回」 (愛知県立大学・名古屋市立大学連携事業)
	29日～3月4日	瀬戸商工会議所パソコン講習会
3月	3日	第11回センター運営会議・産学連携推進室運営会議 第3回公開講座企画運営委員会
	11日	第11回APU情報科学セミナー

## 4. 活動実績

### 【地域の課題解決を目指す】

#### (1) 自治体等への委員推薦及び講師派遣等に関するコーディネート実績

##### 《自治体の審議会への委員推薦》

###### ○愛知県

- ・愛知県私立学校審議会委員  
渡邊 眞依子 准教授（教育福祉学部教育発達学科）
- ・愛知県学校法人等助成審議会委員  
瀬野 由衣 准教授（教育福祉学部教育発達学科）

##### 《自治体等への派遣》

###### ○長久手市

- ・長久手市くらし文化部生涯学習課からの依頼により、「長久手市・愛知県立大学連携公民館講座」へ講師派遣を行った。  
上川 通夫 教授（日本文化学部歴史文化学科）  
「愛知県史と愛知文化遺産～平安時代の新出史料～」  
（平成 28 年 2 月 20 日、27 日）

###### ○春日井市

- ・春日井市文化スポーツ部生涯学習課からの依頼により、「かすがい熟年大学」へ講師の派遣を行った。  
上川 通夫 教授（日本文化学部歴史文化学科）  
「愛知県史と春日井市史～円福寺及び地域の歴史～」（平成 28 年 2 月 19 日、3 月 4 日）

###### ○名古屋市

- ・名古屋市北生涯学習センターからの依頼により、講師派遣のコーディネートをを行った。  
秋田 貴美子 准教授（外国語学部国際関係学科）  
「日本人のジェンダーコミュニケーション～海外との比較から～」（平成 28 年 2 月 12 日）

###### ○刈谷市

- ・刈谷市教育委員会生涯学習部生涯学習課推進係からの依頼により、講師派遣のコーディネートをを行った。  
松宮 朝 准教授（教育福祉学部社会福祉学科）  
「外国人住民と地域コミュニティ」（平成 28 年 2 月 16 日）

###### ○日進市

- ・日進市西小学校からの依頼により、講師派遣のコーディネートをを行った。  
稲嶋 修一郎 准教授（教育福祉学部教育発達学科）  
学校保健、子どもの体力増進に関する講演（平成 28 年 2 月 8 日）

## 《カルチャーセンターへの派遣》

### ○朝日カルチャーセンター

愛知県立大学では、大学での教育研究の成果を県民や社会に対して還元するとともに、高度な要望や知的欲求など県民の多様なニーズに対応するため、朝日カルチャーセンターと提携講座を開催している。

〈平成 27 年度提携講座〉

#### 4 月～6 月

伊藤伸江教授(日本文化学部国語国文学科)	「兼好法師のつれづれなる生活—中世文学の世界」
久富木原玲教授(日本文化学部国語国文学科)	「源氏物語の謎」
伊里松俊名誉教授	「アイルランド短編小説の魅力」
日置雅子名誉教授	「ドイツ神聖ローマ皇帝権とローマ教皇権との軋轢～ドイツ叙任権闘争 ④神聖ローマ帝国の成立」
大脇由紀子非常勤講師	『古事記』入門」
同上	「ゆったり古代神話の旅 —神祭りの地・酒造りの地をめぐる」

#### 7 月～9 月

久富木原玲教授(日本文化学部国語国文学科)	「源氏物語「宇治十帖を味わう」」
同上	「源氏物語の謎」
伊里松俊名誉教授	「アイルランド短編小説の魅力」
伊藤伸江教授(日本文化学部国語国文学科)	「兼好法師のつれづれなる生活—中世文学の世界」
同上	「兼好法師の人間観察術～世には心えぬ事多きなり」
大脇由紀子非常勤講師	『古事記』入門」

#### 10 月～12 月

久富木原玲教授(日本文化学部国語国文学科)	「源氏物語の謎」
同上	「源氏物語「宇治十帖を味わう」」
伊里松俊名誉教授	「アイルランド短編小説の魅力」
日置雅子名誉教授	「十字軍と 12 世紀ルネサンスの時代 ⑥ヨーロッパ中世社会の転回期」
大脇由紀子非常勤講師	『古事記』入門」
同上	「ゆったり古代神話の旅 伊勢志摩の神話風景と海女文化」
伊藤伸江教授(日本文化学部国語国文学科)	「兼好法師のつれづれなる生活—中世文学の世界」
犬飼隆元教授	「秋の万葉歌をうたう」

#### 1 月～3 月

久富木原玲教授(日本文化学部国語国文学科)	「源氏物語の謎」
同上	「源氏物語「宇治十帖を味わう」」
伊里松俊名誉教授	「アイルランド短編小説の魅力」
大脇由紀子非常勤講師	『古事記』入門」
伊藤伸江教授(日本文化学部国語国文学科)	「兼好法師のつれづれなる生活—中世文学の世界」

## 《その他地域連携コーディネート及び連携事業》

- ・ あいち海上の森センター（人と自然の共生国際フォーラム実行委員就任）
- ・ 愛知県教育委員会（高大連携事業）
- ・ 愛知県建設部公園緑地課（全国都市緑化祭への協力）
- ・ 愛知県生涯学習推進センター（公開講座情報の提供、生涯学習講座講師名簿への情報提供）
- ・ 愛知県振興部地域政策課地域整備グループ（リニモ沿線地域づくり会議への協力）
- ・ 愛知県振興部地域政策課地域振興グループ（連携事業の実施）
- ・ 愛知県振興部スポーツ振興課（あいちスポーツコミッション事務局）調整グループ（あいちスポーツコミッションへの参画）
- ・ 愛知県陶磁美術館（パートナーシップ事業）
- ・ 一般社団法人 中部経済連合会（中部リーディングプロジェクトミーティングへの協力）
- ・ 公益財団法人 科学技術交流財団（「知の拠点あいち」重点研究プロジェクト事業への協力）
- ・ JICA（講演会の実施）
- ・ 瀬戸商工会議所（パソコン講習会の実施）
- ・ 徳川美術館（大学メンバーシップへの参加）
- ・ 長久手市（大学連携推進協議会への参加、相互の事業の周知協力等）
- ・ 長久手市商工会（パソコン講習会の実施）
- ・ 名古屋市立大学（地域貢献、公開講座、産学官連携等に関する情報交換、連携事業の実施）
- ・ 名古屋城総合事務所（名古屋城本丸御殿学生おもてなしボランティア募集協力）
- ・ 豊田市（共催事業検討）



## 【地域を支える人材の育成】

### (1) 学術講演会

平成 27 年度 学術講演会 実施結果①  
(公募企画)

1. 講演名：コロンビアの大統領選挙（2014）と和平交渉の行方
2. 日時：平成 27 年 6 月 2 日（火） 16:10～17:40
3. 会場：長久手キャンパス K 棟 小ホール
4. 講師：カルロ・ナシ氏（コロンビア共和国・ロスアンデス大学政治学科准教授）  
[解説] 幡谷 則子 氏（上智大学外国語学部教授・イベロアメリカ研究所所長）
5. 聴講者数：53 名（一般と学生）

【小池教授の開会の挨拶】



【幡谷教授の解説】



【ナシ准教授の講演】



【ナシ准教授と幡谷教授】



## 平成 27 年度 学術講演会 実施結果②

(外国語学部学術講演会)

1. 講演名：アフリカでのコップ一杯の水の価値発見から琵琶湖保全へ  
～学者 40 年・滋賀県知事 8 年の経験から伝えたいこと～
2. 日時：平成 27 年 10 月 19 日（月） 12:50～14:20
3. 会場：長久手キャンパス L 棟（講堂）
4. 講師：嘉田 由紀子 氏（びわこ成蹊スポーツ大学学長・前滋賀県知事）
5. 聴講者数：一般・学生 計 202 名

【亀井准教授の挨拶】



【講演の様子】



【講演の様子】



【熱心に質問に回答される嘉田氏】



## (2) 公開講座

### 平成 27 年度 公開講座 実施結果 (外国語学部公開講座)

1. 講座名：環境と資源から見る国際社会—21 世紀の世界と日本
2. 日時：第 1 回 10 月 24 日 (土)、第 2 回 11 月 7 日 (土)  
第 3 回 11 月 28 日 (土)、第 4 回 12 月 12 日 (土) 各日 13:30~16:40
3. 会場：長久手キャンパス K 棟多目的ホール、S 棟 S101 教室
4. 参加者：一般受講申込数 50 名 修了証授与者 25 名

〈講座内容〉

○第 1 回 受講者数 51 名 (一般と学生)

「人間と環境の共存の原点を見する：アフリカにおけるフィールドワークから」

テーマ	講師
生態人類学への誘い： 人類と環境の 700 万年史	亀井 伸孝 (愛知県立大学外国語学部国際関係学科准教授)
野生生物保全の観点から見た資源開発と 国際支援	西原 智昭 氏 (Wildlife Conservation Society、コンゴ共和国在住)



○第 2 回 受講者数 48 名 (一般と学生)

「私たちをとりまく「食」を考える：日本の里山、アジアとの関わり」

テーマ	講師
現代日本社会において猟師として生きる	千松 信也 氏 (猟師)
アジアにおける食料貿易と〈和食〉	西野 真由 (愛知県立大学外国語学部中国学科准教授)



○第3回 受講者数 53 名（一般と学生）

「資源利用のこれまでとこれから：民族学の視点、経済学の視点」

テーマ	講師
極限の地で生きてきた人々： アンデス、ヒマラヤ、モンゴルのフィールドから	稲村 哲也 (放送大学教養学部教授)
シェール革命と世界情勢の激変	草野 昭一 (愛知県立大学外国語学部国際関係学科教授)



○第4回 受講者数 44 名（一般と学生）

「資源・エネルギー政策と地域社会：福島とカタルーニャの事例」

テーマ	講師
3・11 原子力災害後の人と野生動植物の関係変化： 農山村の暮らしから	西崎 伸子 氏 (福島大学行政政策学類准教授)
カタルーニャの独立派が構想する新国家の 資源・エネルギー・環境問題	奥野 良知 (愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻准教授)





### (3) OB・OGによる講座「県大アゲイン」

#### 平成 27 年度 公開講座「県大アゲイン」 実施結果

1. 講座名：県大アゲイン「酒をさかなにいろいろなお話を」
2. 日時：第1回 9月6日（日） 第2回 9月13日（日）  
第3回 9月27日（日） 第4回 10月4日（日） 各日 10:30～12:00
3. 会場：愛知県立大学名駅サテライトキャンパス（名古屋市中村区名駅ウィンクあいち 15 階）
4. 参加者：申込数 70 名（聴講者 66 名） 修了証授与者 45 名（3 回以上参加）

〈講座内容・講師名〉

○第1回 受講者数 47 名

テーマ	講師
酒ができるメカニズム	横田 幸雄 氏（情報科学部情報科学科） 昭和 54 年 1 月から平成 24 年 3 月まで在職



○第2回 受講者数 48 名

テーマ	講師
中毒・嗜癖・依存と心 ～アルコールとのかかわりを中心に～	赤塚 大樹 氏（看護学部看護学科） 昭和 62 年 8 月から平成 25 年 3 月まで在職



○第3回 受講者数 51名

テーマ	講師
聖体拝領と自然破壊	横田 幸雄 氏 (情報科学部情報科学科) 昭和 54 年 1 月から平成 24 年 3 月まで在職



○第4回 受講者数 54名

テーマ	講師
「自由の帝国」とお酒 —アメリカの物語	安武 秀岳 氏 (外国語学部英米学科) 平成 8 年 4 月から平成 14 年 3 月まで在職



(4) 地域連携事業

平成 27 年度実施 地域連携事業リスト

NO.	事業名	事業種別	実施日	頁数
1	講演会「戦争・社会福祉・人権」	共催	H27. 5.9	24
2	講演会「Compassion in Action:Be the change you want to see in the world」	協力	H27. 5.11	25
3	講演会「紛争なき未来へ ～コロンビア・先住民族の声を聴く 紛争・故郷・生きるための知恵」	共催	H27. 5.27	26
4	講演会「Looking East for Ethics—Tetsuro Watsuji, Rinrigaku,and Communitarianism」 ワークショップ「What do you see?—Raising awareness of ethnic/racial/gender stereotyping through nonverbal or visual cues」	主催	H27. 6.9& 6.11	27 -28
5	講演会「Spreading HOPE Around the World:From Poverty to Self Reliance」	協力	H27. 6.22	29
6	講演会「アフリカ:民主主義・開発・統治」	共催	H27. 6.29	30
7	JICA ボランティアセミナー「国際協力というシゴト」	主催	H27. 7.6	31
8	講演会「東北へ、行こう」	主催	H27. 7.8	32
9	モリコロパーク夏まつり ロボット展示	主催	H27. 7.11-12	33
10	講演会「ネパール大地震、その後:コミュニティの結合、社会変容、そして復興」	共催	H27. 7.16	34

NO.	事業名	事業種別	実施日	頁数
11	「はじめてのインドネシア語」講座（初級）	主催	H27. 7.21-25	35
12	「もっと知りたいインドネシア語」講座（中級）	主催	H27. 7.21-25	36
13	公開シンポジウム「21世紀の東アジアと日本、愛知を考える」	共催	H27. 7.25	37
14	インドネシア現地経済事情講習会	主催	H27. 8.7	38
15	産学協同教育セミナー「企業と大学による教育実践 FSP（Future Skills Project）」	主催	H27. 9.18	39
16	CEATEC JAPAN2015 愛知県ブースへの出展	共催	H27. 10.7-11	40 -43
17	長久手市国際交流協会・愛知県立大学日本語教員課程協働セミナー 「ボランティア日本語教室の活動計画を作ってみよう」	後援	H27. 10.10	44
18	愛知県立大学世界史セミナー 「カタルーニャにおける独立志向の高まりとその要因」	共催	H27. 10.31	45
19	平成27年度名古屋・東海地区外務省セミナー「学生と語る」	協力	H27. 11.18	46
20	シンポジウム「山寺をめぐる道と山寺に遺された書物—地方の文化遺産から見えるもの」	共催	H27. 12.12	47



NO.	事業名	事業種別	実施日	頁数
21	愛知県史展と愛知文化遺産の探究—日本文化学部事業・愛知人文社会ルネッサンス— 公開セミナー「愛知県史と愛知文化遺産—県史活用の時代へ—」	共催	H28. 1.10	48
22	愛知県立大学 外国語学部 公開授業 研究各論「イギリスの歴史」 「イギリスの帝国支配—インドとの関係を中心に」 (愛知県立大学・名古屋市立大学連携事業)	主催	H28. 1.22	49
23	講演会「Japan's performance paradox—why do Japanese companies not make full use of Japan's excellent resources—」	共催	H28. 1.28	50
24	世界展開する海外日本研究者に学ぶ—日本文化学部プロジェクト 2015・愛知人文社会ルネッサンス— 講演会「そして5年 3.11 が私たちに託した狂おしい現実」	主催	H28. 2.11	51
25	愛知県立大学世界史セミナー「18世紀フランス『百科全書』研究の現状と課題」 (愛知県立大学・名古屋市立大学連携事業)	主催	H28. 2.27	52

事業種別集計表

講座種別	今年度件数	昨年度件数	対前年度比
主催	11	8	+3
共催	10	7	+3
協力	3	1	+2
後援	1	0	+1
事業件数合計	25	16	+9

(単位：件)

## 平成 27 年度 地域連携事業 実施結果①

1. 事業名称：講演会「戦争・社会福祉・人権」
2. 事業種別：共催
3. 申請者：橋本 明（愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科教授）
4. 主催者：社会事業史学会 第 43 回大会実行委員会
5. 日時：平成 27 年 5 月 9 日（土） 13：00～14：00
6. 会場：長久手キャンパス S201 教室
7. 講師：広瀬 哲夫 氏（長島愛生園自治会）
8. 参加者数：約 190 名

### 【広瀬氏講演の様様と会場風景】



## 平成 27 年度 地域連携事業 実施結果②

1. 事業名称：講演会「Compassion in Action :Be the change you want to see in the world」
2. 事業種別：協力
3. 申請者：宮谷 敦美（愛知県立大学外国語学部国際関係学科教授）
4. 主催者：愛知県立大学グローバル人材育成推進室
5. 日時：平成 27 年 5 月 11 日（月） 13:00～14:00
6. 会場：長久手キャンパス K 棟 小ホール
7. 講師：Sylvia Beauchain 氏  
(CEO & Founding Director, Chi-Ki Children's Charity)
8. 参加者数：46 名

### 【Sylvia Beauchain 氏の講演】



### 平成 27 年度 地域連携事業 実施結果③

1. 事業名称：講演会「紛争なき未来へ ～コロンビア・先住民の声を聞く 紛争・故郷・生きるための知恵」
2. 事業種別：共催
3. 申請者：谷口 智子（愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻准教授）
4. 主催者：愛知県立大学多文化共生研究所
5. 開催日時：平成 27 年 5 月 27 日（水） 10：30～12：00
6. 会場：長久手キャンパス L 棟（講堂）
7. 講師：ホセ・メロ・チンガル 氏（アワ民族自治区マグイ地域評議会上級顧問）  
柴田 大輔 氏（フリーランスフォトジャーナリスト）
8. 参加者数：109 名（一般と学生）

#### 【ホセ氏及び柴田氏の講演の様子】



## 平成 27 年度 地域連携事業 実施結果④-1

1. 事業名称：講演会「Looking East for Ethics—Tetsuro Watsuji, Rinrigaku, and Communitarianism」
2. 事業種別：主催
3. 申請者：秋田 貴美子（愛知県立大学外国語学部国際関係学科准教授）
4. 主催者：愛知県立大学地域連携センター
5. 日時：平成 27 年 6 月 9 日（火）10:30～12:00
6. 会場：長久手キャンパス L 棟（講堂）
7. 講師：Dr.Rick Kenney 氏  
(Georgia Regents University, USA コミュニケーション学部教授)
8. 参加者数：110 名（一般と学生）

### 【Dr.Rick Kenney 氏の講演の様子】





平成 27 年度 地域連携事業 実施結果④-2

1. 事業名称：ワークショップ「What do you see?—Raising awareness of ethnic/racial/gender stereotyping through nonverbal or visual cues」
2. 事業種別：主催
3. 申請者：秋田 貴美子（愛知県立大学外国語学部国際関係学科准教授）
4. 主催者：愛知県立大学地域連携センター
5. 日時：平成 27 年 6 月 11 日（木） 10:30～12:00
6. 会場：長久手キャンパス K 棟 多目的ホール
7. 講師：Dr.Rick Kenney 氏  
(Georgia Regents University, USA コミュニケーション学部教授)
8. 参加者数：37 名（一般と学生）

【Dr.Rick Kenney 氏の WS と参加者の様子】



## 平成 27 年度 地域連携事業 実施結果⑤

1. 事業名称：講演会「Spreading HOPE around the World: From Poverty to Self Reliance」
2. 事業種別：協力
3. 申請者：宮谷 敦美（愛知県立大学外国語学部国際関係学科教授）
4. 主催者：愛知県立大学グローバル人材育成推進室
5. 日時：平成 27 年 6 月 22 日（月） 12:50～14:20
6. 会場：長久手キャンパス K 棟 小ホール
7. 講師：Erin Sakakibara 氏  
(Nagoya Regional Director,HOPE International Development Agency Japan)
8. 参加者数：37 名

### 【Erin Sakakibara 氏の講演】



## 平成 27 年度 地域連携事業 実施結果⑥

1. 事業名称：講演会「アフリカ：民主主義・開発・統治」
2. 事業種別：共催
3. 申請者：亀井 伸孝（愛知県立大学外国語学部国際関係学科准教授）
4. 主催者：愛知県立大学多文化共生研究所
5. 日時：平成 27 年 6 月 29 日（月） 14:30～16:00
6. 会場：長久手キャンパス L 棟（講堂）
7. 講師：スティーブ・アクレソ・ボジョナ氏（トーゴ共和国駐日臨時代理大使）
8. 参加者数：284 名（一般・教職員・学生）

【亀井准教授の挨拶】



【ボジョナ氏の講演】



【ボジョナ氏の講演】





## 平成 27 年度 地域連携事業 実施結果⑦

1. 事業名称：JICA ボランティアセミナー「国際協力というシゴト」
2. 事業種別：主催
3. 申請者：亀井 伸孝（愛知県立大学外国語学部国際関係学科准教授）
4. 主催者：愛知県立大学地域連携センター
5. 日時：平成 27 年 7 月 6 日（月） 14:30～16:00
6. 会場：長久手キャンパス L 棟（講堂）
7. 講師：真野 由紀 氏
8. 参加者数：201 名（一般・教職員・学生）

### 【JICA 中部による事業概要説明】



### 【真野氏の講演】



### 【真野氏の講演】



## 平成 27 年度 地域連携事業 実施結果⑧

1. 事業名称：講演会「東北へ、行こう。」
2. 事業種別：主催
3. 申請者：吉川 雅博（愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科教授）
4. 主催者：愛知県立大学地域連携センター
5. 日時：平成 27 年 7 月 8 日（水） 12:30～14:30
6. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス H004 教室
7. 講師：遠藤 学 氏（NPO 法人 DoTank みやぎ理事長）
8. 司会：青木 ひかり（愛知県立大学日本文化学部歴史文化学科 4 年）
9. 参加者数：14 名

【講演の様子】



【講演の様子】



【学生による司会】



## 平成 27 年度 地域連携事業 実施結果⑨

1. 事業名称：モリコロパーク夏まつり ロボット展示
2. 事業種別：主催
3. 申請者：小林 邦和（愛知県立大学情報科学部情報科学科准教授）
4. 主催者：愛知県立大学情報科学部、地域連携センター
5. 日時：平成 27 年 7 月 11 日（土）・12 日（日）
6. 会場：愛・地球博記念公園 地球市民交流センター 体験学習室 1

【展示の様子】



【展示の様子】



## 平成 27 年度 地域連携事業 実施結果⑩

1. 事業名称：講演会「ネパール大地震、その後：コミュニティの結合、社会変容、そして復興」
2. 事業種別：共催
3. 申請者：杉山 三郎（愛知県立大学大学院国際文化研究科特任教授）
4. 日時：平成 27 年 7 月 16 日（木） 14:30～15:30
5. 会場：長久手キャンパス H005 教室
6. 講師：キソル・チャンドラ・カナル（愛知県立大学多文化共生研究所客員共同研究員）
7. 参加者数：22 名（一般・教職員・学生）

【杉山特任教授による開会の挨拶】



【カナル氏の講演】



【カナル氏の講演】



【質疑応答】

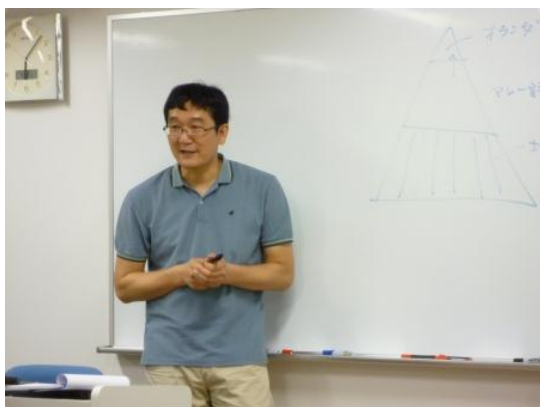




## 平成 27 年度 地域連携事業 実施結果①

1. 事業名称：「はじめてのインドネシア語」講座（初級）
2. 事業種別：主催
3. 申請者：小座野 八光（愛知県立大学外国語学部中国学科准教授）
4. 主催者：愛知県立大学地域連携センター
5. 後援：愛知県、公益財団法人あいち産業振興機構、中部経済連合会、名古屋商工会議所
6. 日時：平成 27 年 7 月 21 日（火）～25 日（土） 全 5 回 18:00～19:30
7. 会場：愛知県立大学名駅サテライトキャンパス
8. 講師：高地 薫（愛知県立大学多文化共生研究所客員共同研究員）
9. 参加者数：22 名

### 【講座の様子】



### 【講座の様子】



### 【修了証の授与】



## 平成 27 年度 地域連携事業 実施結果⑫

1. 事業名称：「もっと知りたいインドネシア語」講座（中級）
2. 事業種別：主催
3. 申請者：小座野 八光（愛知県立大学外国語学部中国学科准教授）
4. 主催者：愛知県立大学地域連携センター
5. 後援：愛知県、公益財団法人あいち産業振興機構、中部経済連合会、名古屋商工会議所
6. 日時：平成 27 年 7 月 21 日（火）～25 日（土） 全 5 回 19:45～21:15
7. 会場：愛知県立大学名駅サテライトキャンパス
8. 講師：高地 薫（愛知県立大学多文化共生研究所客員共同研究員）
9. 参加者数：17 名

【講座の様子】



【講座の様子】



【修了証の授与】



## 平成 27 年度 地域連携事業 実施結果⑬

1. 事業名称：愛知県立大学・公開シンポジウム  
「21 世紀の東アジアと日本、愛知を考える」
  2. 事業種別：共催
  3. 申請者：小座野 八光（愛知県立大学外国語学部中国学科准教授）
  4. 共催：愛知県立大学、日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア経済研究所
  5. 後援：ジェトロ名古屋、大幸財団、中部経済連合会、名古屋商工会議所、ワンアジア財団ほか（五十音順）
  6. 日時：平成 27 年 7 月 25 日（土） 10:00～12:30
  7. 会場：愛知県産業労働センターウインクあいち 大会議室 902 号
  8. 講師：加藤 青延 氏（日本放送協会解説委員・専門は中国政治、日中関係）  
佐藤 百合 氏  
（ジェトロ・アジア経済研究所地域研究センター上席主任調査研究員インドネシア経済）  
添谷 芳秀 氏（慶応義塾大学教授・日本外交、日米関係、国際政治）  
高原 明生 氏（東京大学教授・中国政治、東アジア国際関係）  
平岩 俊司 氏（関西学院大学教授・朝鮮半島情勢）  
吉岡 桂子 氏（朝日新聞編集委員・中国経済、日中関係）
6. 参加者数：146 名（一般・学生）

【鮎京正訓愛知県公立大学法人理事長挨拶】



【各講師パネルディスカッションの様子】



【大村秀章愛知県知事挨拶】



【会場一杯の聴衆】



## 平成 27 年度 地域連携事業 実施結果⑭

1. 事業名称：インドネシア現地経済事情講習会
2. 事業種別：主催
3. 申請者：小座野 八光（愛知県立大学外国語学部中国学科准教授）
4. 主催者：愛知県立大学地域連携センター
5. 後援：愛知県、公益財団法人あいち産業振興機構、中部経済連合会、名古屋商工会議所
6. 日時：平成 27 年 8 月 7 日（金） 16:00～17:30
7. 会場：愛知県産業労働センター18階 愛知産業振興機構セミナー室
8. 講師：松井 和久（愛知県立大学多文化共生研究所客員共同研究員）
9. 参加者数：21 名

【小座野准教授の挨拶】



【松井氏の講演】



【会場の様子】





## 平成 27 年度 地域連携事業 実施結果⑮

1. 事業名称：産学協同教育セミナー  
「企業と大学による教育実践 FSP (Future Skills Project)」
2. 事業種別：主催
3. 申請者：小池 康弘 (愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻教授)
4. 主催者：愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：平成 27 年 9 月 18 日 (金) 14:30~16:00
6. 会場：長久手キャンパス K 棟 小ホール
7. 講師：平山 恭子 氏 (一般社団法人 FSP 研究会事務局長)
8. 参加者数：17 名(一般・教職員・学生)

【小池教授の挨拶】



【平山氏の講演】



【小池教授の報告】



【参加者との質疑応答】

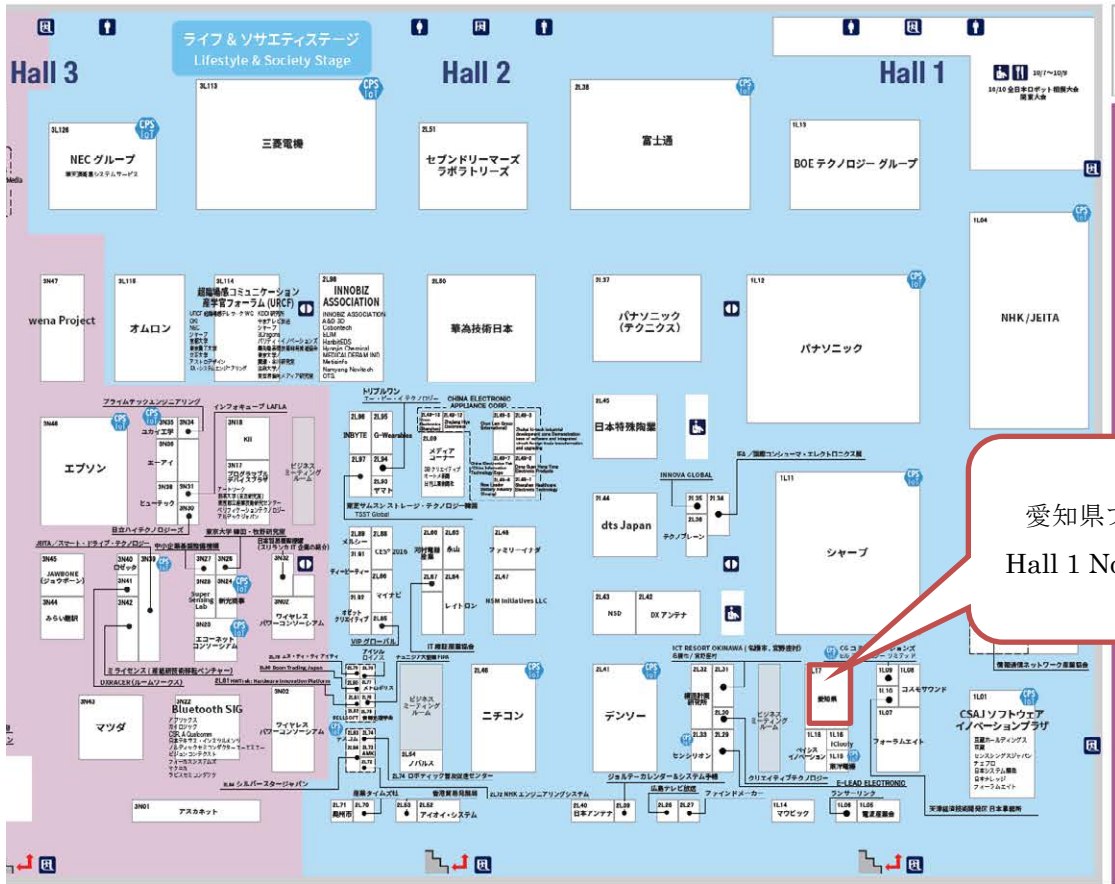


平成 27 年度 地域連携事業 実施結果⑯  
(産業界との連携事業)

1. 事業名称：CEATEC JAPAN 2015 愛知県ブースへの出展
2. 事業種別：共催
3. 申請者：小栗 宏次（愛知県立大学情報科学部情報科学科教授）
4. 主催者：愛知県産業労働部産業振興課 自動車産業グループ
5. 運営：株式会社東海テレビプロダクション
6. 日時：平成 27 年 10 月 7 日（水）～10 月 10 日（土） 10:00～17:00
7. 会場：幕張メッセ（千葉市美浜区中瀬 2-1）
8. 参加者数：13 万 3048 人（前年は 15 万 912 人）
9. 出展ブース：ライフ&ソサエティステージ 愛知県ブース ブース No. 1L17
10. 愛知県ブース開催趣旨：  
自動車産業と IT・情報産業とのマッチングが可能な「CEATEC JAPAN」で、県内の企業等に技術・製品の PR を提供する場を提供し、新たな取引先・連作先の拡大を支援する。愛知県の交通事故死亡者数の減少を目的として産学行政の連携のもと設置した「自動車安全技術プロジェクトチーム」の活動の一つ（自動車安全技術にかかわる企業に対するマッチング機会の提供）として実施する。
11. テーマ：「人とクルマのやさしい未来」～自動車安全技術プロジェクトチーム
12. 愛知県ブース出展者：  
アイサンテクノロジー株式会社、愛知県立大学、AZAPA 株式会社、株式会社トヨタテック、原田車両設計株式会社、SBD ジャパン（プレゼンテーションのみ）、株式会社プロツア（パネル展示のみ） 合計 7 社
13. 出展内容：  
私たちは人・車・交通環境の三位一体の安全として、ドライバの運転能力評価・トレーニングとインフラ（白線）の質の維持管理について研究しています。その中から今回は、従来の検査器にはない「実映像型運転評価シミュレータ」と、路面にある白線の劣化状態を推定する「白線劣化データ収集システム」のデモを行いました。
14. 実施の内容：  
① 研究内容のパネル展示  
② デモンストレーション（実映像型運転評価シミュレータデモ、白線劣化データ収集システムのデモ）  
③ プレゼンテーションスペースでの 1 日 2 回のプレゼンテーションの実施  
ブース内での対応は、2 名常駐の 4 名以上の体制で行った。

	火 (10/6)	水 (10/7)	木 (10/8)	金 (10/9)	土 (10/10)
学生	2	4	3	3	3
教職員	2		1	1	2

なお、10月6日は午後から搬入作業、10月11日は17時からの片付け作業を実施した。



展示場所（赤枠のブースが愛知県ブース）



愛知県ブースの全景（正面から） 愛知県ブースの全景（右側から）



愛知県ブースの全景（左側から） 愛知県立大学の展示状況



プレゼンテーションの状況

ブース展示の実映像型運転評価シミュレータの実演をカメラで撮影し、プレゼンテーションスペースのモニターに中継した。（右写真）

スケジュールに基づき、ブース正面のプレゼンテーションスペースでプレゼンテーションを1日2回実施した。

プレゼンテーションスケジュール(案)				
10月	7日(水)	8日(木)	9日(金)	10日(土)
10:00				
10:30	愛知県立大学 10:30~11:00	SBDジャパン 10:30~11:00	トヨタテック 10:30~11:00	トヨタテック 10:30~11:00
11:00				
11:30	SBDジャパン 11:30~12:00	SBDジャパン 11:30~12:00	SBDジャパン 11:30~12:00	愛知県立大学 11:30~12:00
12:00				
12:30				
13:00	愛知県立大学 13:00~13:30	トヨタテック 13:00~13:30	愛知県立大学 13:00~13:30	
13:30				
14:00	トヨタテック 14:00~14:30	愛知県立大学 14:00~14:30	トヨタテック 14:00~14:30	愛知県立大学 14:00~14:30
14:30				
15:00	SBDジャパン 15:00~15:30	トヨタテック 15:00~15:30	SBDジャパン 15:00~15:30	トヨタテック 15:00~15:30
15:30				
16:00	トヨタテック 16:00~16:30	愛知県立大学 16:00~16:30	愛知県立大学 16:00~16:30	愛知県立大学 16:00~16:30
16:30				
17:00				

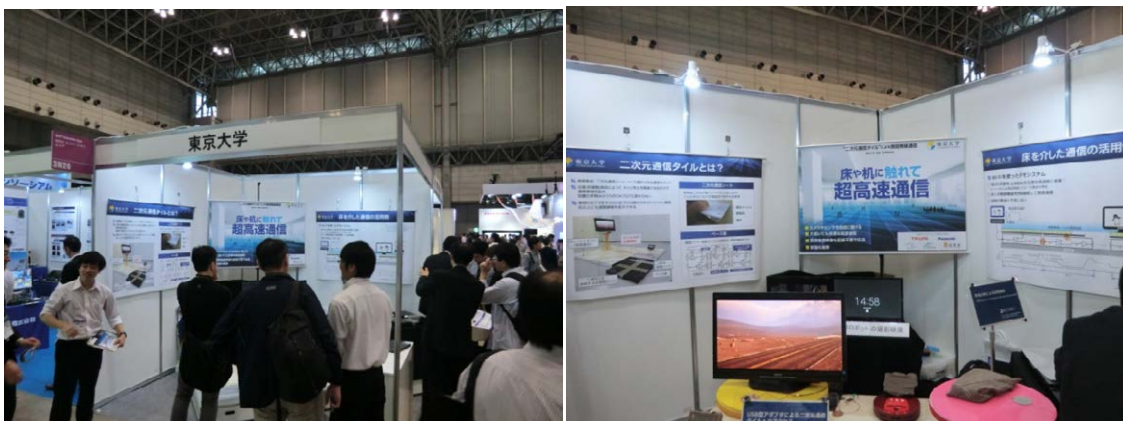


15. その他：

CEATEC JAPAN2015 では、ベンチャー&ユニバーシティエリアがあり大学の研究センターや研究室の研究紹介をしていた。



展示エリアは、3つ（ライフ&ソサエティステージ、キーテクノロジーステージ、ネクストイノベーションエリア）に分かれていて、ネクストイノベーションエリアでは東京大学が超高速通信の研究紹介をしていた。



企業と大学と共同研究で出展しているブースもあった。



## 平成 27 年度 地域連携事業 実施結果①

1. 事業名称：長久手市国際交流協会・愛知県立大学日本語教員課程協働セミナー  
「ボランティア日本語教室の活動計画を作ってみよう」
2. 事業種別：後援
3. 申請者：宮谷 敦美（愛知県立大学外国語学部国際関係学科教授）
4. 主催者：愛知県立大学日本語教員課程
5. 日時：平成 27 年 10 月 10 日（土） 10:30～15:30
6. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス B101 教室
7. 講師：宮谷 敦美（外国語学部国際関係学科教授）
8. 参加者数：愛知県立大学日本語教員課程実習生および SA 24 名  
長久手市国際交流協会日本語支援ボランティア 23 名  
東弘子、宮谷敦美（国際関係学科）  
オブザーバー 水野氏（長久手市役所たつせがある課） 計 50 名

### 【セミナーの様子】





## 平成 27 年度 地域連携事業 実施結果⑩

1. 事業名称：愛知県立大学世界史セミナー  
「カタルーニャにおける独立志向の高まりとその要因」
2. 事業種別：共催
3. 申請者：今野 元（愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻教授）
4. 主催者：愛知県立大学世界史研究会
5. 日時：平成 27 年 10 月 31 日（土） 16:00～18:00
6. 会場：愛知県立大学名駅サテライトキャンパス
7. 講師：奥野 良知（愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻准教授）
8. 聴講者数：一般および高校教員あわせて 69 名

### 【講演の様子】



### 【司会の今野教授】



### 【質疑応答の様子】



## 平成 27 年度 地域連携事業 実施結果⑱

1. 事業名称：平成 27 年度「名古屋・東海地区外務省セミナー『学生と語る』」
2. 事業種別：協力
3. 申請者：木下 郁夫（愛知県立大学外国語学部国際関係学科教授）
4. 主催者：外務省、平成 27 年度名古屋・東海地区外務省セミナー「学生と語る」実行委員会
5. 日時：平成 27 年 11 月 18 日（水） 14:00～18:00
6. 会場：長久手キャンパス S201 教室
7. 講師：齋藤 敦 氏（総合外交政策局安全保障政策課交渉官）（基調講演）
8. 参加者数：約 120 名

【開会挨拶の様子】



【基調講演の様子】



【基調講演の様子】





## 平成 27 年度 地域連携事業 実施結果⑳

1. 事業名称：シンポジウム  
「山寺をめぐる道と山寺に遺された書物—地方の文化遺産から見えるもの」
2. 事業種別：共催
3. 申請者：中根 千絵（愛知県立大学日本文化学部国語国文学科教授）
4. 主催者：説話文学会
5. 日時：平成 27 年 12 月 12 日（土） 13:30～17:00
6. 会場：長久手キャンパス K 棟 多目的ホール
7. 講師：上川 通夫（愛知県立大学）、阿部 泰郎 氏（名古屋大学）、  
大河内 智之 氏（和歌山県立博物館）  
司会：中根 千絵（愛知県立大学）
8. 参加者数：約 80 名

【講演の様子】



【講演の様子】



## 平成 27 年度 地域連携事業 実施結果①

1. 事業名称：公開セミナー「愛知県史と愛知文化遺産—県史活用の時代へ—」
2. 事業種別：共催
3. 申請者：上川 通夫（愛知県立大学日本文化学部歴史文化学科教授）
4. 主催者：愛知県立大学日本文化学部、愛知県総務部法務文書課県史編さん室
5. 日時：平成 28 年 1 月 10 日（日） 13:00～16:00
6. 会場：長久手キャンパス K 棟 多目的ホール
7. 講師：服部 光真 氏（元興寺文化財研究所研究員、愛知県立大学大学院修士課程修了生）  
福岡 猛志 氏（愛知県史古代史部会長、日本福祉大学名誉教授）
8. 参加者数：129 名(学生と一般)

【上川日本文化学部長挨拶】



【服部氏講演の様子】

【服部津年治愛知県県史編さん室長挨拶】



【福岡氏講演の様子】



【講師の方々と愛知県県史編さん室のスタッフの皆様】



平成 27 年度 地域連携事業 実施結果②  
(愛知県立大学・名古屋市立大学連携事業)

1. 事業名称：愛知県立大学 外国語学部公開授業 研究各論「イギリスの歴史」  
「イギリスの帝国支配—インドとの関係を中心に」
2. 事業種別：主催
3. 申請者：大野 誠 (愛知県立大学外国語学部英米学科教授)
4. 主催者：愛知県立大学 (特別協力：名古屋市立大学)
5. 日時：平成 28 年 1 月 22 日 (金) 10:30~12:00
6. 会場：長久手キャンパス S101 教室
7. 講師：木谷 名都子 氏 (名古屋市立大学大学院経済学研究科准教授)
8. 参加者数：87 名(学生と一般)

【講師紹介】



【講演の様子】



【講演の様子】



【講演の様子】



平成 27 年度 地域連携事業 実施結果②  
(第 9 回 APU 情報科学セミナーを兼ねて実施)

1. 事業名称：ドイツ日本研究所所長フランツ・ヴァルデンベルガー氏講演会  
「Japan's performance paradox—why do Japanese companies not make full use of Japan's excellent resources?—」
2. 事業種別：共催
3. 申請者：小栗 宏次（愛知県立大学情報科学部情報科学科教授）
4. 主催者：愛知県立大学情報科学共同研究所
5. 日時：平成 28 年 1 月 28 日（木） 16:30～17:30
6. 会場：長久手キャンパス S101 教室
7. 講師：フランツ・ヴァルデンベルガー氏（ドイツ日本研究所所長）
8. 参加者数：78 名

【開会挨拶の様子】



【講演の様子】



【質疑応答の様子】



【参加者集合写真】





## 平成 27 年度 地域連携事業 実施結果④

1. 事業名称：世界展開する海外日本研究者に学ぶ  
—日本文化学部プロジェクト 2015・愛知人文社会ルネッサンス—  
講演会「そして5年 3.11 が私たちに託した狂おしい現実」
2. 事業種別：主催
3. 申請者：上川 通夫（愛知県立大学日本文化学部歴史文化学科教授）
4. 主催者：愛知県立大学日本文化学部、地域連携センター
5. 日時：平成 28 年 2 月 11 日（木・祝） 13:00～16:30
6. 会場：長久手キャンパス L 棟（講堂）
7. 講師：ノーマ・フィールド氏（シカゴ大学名誉教授）  
久富木原 玲（愛知県立大学日本文化学部国語国文学科教授）
8. 参加者数：約 360 名(学生と一般)

【高島県立大学学長挨拶】



【ノーマ・フィールド氏講演の様子】

【上川日本文化学部長挨拶】



【県立大学大学院生の歓迎挨拶の様子】



【第 2 部のフィールド氏と久富木原教授との対話】



平成 27 年度 地域連携事業 実施結果⑤  
(愛知県立大学・名古屋市立大学連携事業)

1. 事業名称：愛知県立大学世界史セミナー  
「18 世紀フランス『百科全書』研究の現状と課題」
2. 事業種別：主催
3. 申請者：今野 元 (愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻教授)
4. 主催者：愛知県立大学世界史研究会、愛知県立大学 (特別協力：名古屋市立大学)
5. 日時：平成 28 年 2 月 27 日 (土) 16:00~18:00
6. 会場：愛知県立大学名駅サテライトキャンパス
7. 講師：寺田 元一 氏 (名古屋市立大学大学院人間文化研究科教授)
8. 参加者数：53 名 (一般及び高校教員)

【講師紹介】



【講演の様子】



【講演の様子】



## (5) 高大連携事業

### 平成 27 年度 高大連携事業 実施結果①

#### 「知の探究講座」

(県教委事業、教育福祉学部公開講座)

1. 講座名：「人の心を知る」
2. 会場：長久手キャンパス H 棟、K 棟内
3. 参加者：31 名（県内高校からの希望者）

#### 実施日程および内容

	実施日	担当教員	講座内容
第 1 回	8 月 4 日 (火)	松宮 朝 准教授	① ガイダンス ② 社会調査からとらえる人の心①
第 2 回	8 月 5 日 (水)	高橋 範行 准教授 松宮 朝 准教授	③ 音楽と人の心 ④ 社会調査からとらえる人の心②
第 3 回	8 月 6 日 (木)	瀬野 由衣 准教授 吉川 雅博 教授	⑤ 人間の発達と進化 ⑥ 障がい体験から「コミュニケーション」を知る
第 4 回	8 月 7 日 (金)	村田 一昭 准教授 湯 海鵬 教授	⑦ 自己理解と他者理解 ⑧ 人の健康と心
第 5 回	8 月 8 日 (土)	宇都宮みのり教授 三山 岳 講師	⑨ 心の動きと交流パターン ⑩ 「学ぶ」人の心と心理学
第 6 回	10 月 31 日(土)	橋本 明 教授 藤原 智也 講師	⑪ こころと社会の歴史 ⑫ 美術を科学する
第 7 回	11 月 7 日 (土)	中藤 淳 教授 稲嶋修一郎 准教授	⑬ 心理学からとらえる人の心 ⑭ 身体活動と人の心
第 8 回	11 月 14 日 (土)	松宮 朝 准教授	⑮ 報告に向けてのまとめと作業 ⑯ 学内報告会

※時間は各日 10:00～16:00

〈第1回〉



〈第2回〉



〈第3回〉





〈第4回〉



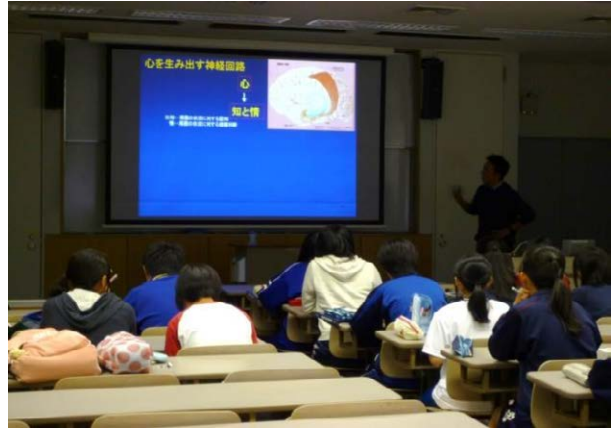
〈第5回〉



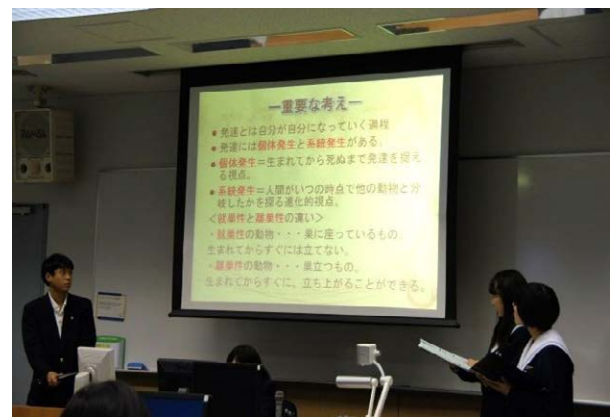
〈第6回〉



〈第7回〉



〈第8回〉





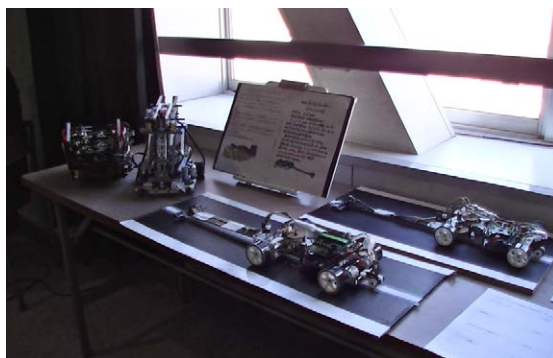
## 平成 27 年度 高大連携事業 実施結果②

1. 事業名称：愛知工業高校 情報技術科 課題研究発表会
  2. 主催者：愛知工業高校 情報技術科
  3. 開催日時：平成 28 年 1 月 22 日（金） 13:25～15:15
  4. 会場：愛知工業高校 視聴覚室
  5. 講師：河中 治樹（愛知県立大学情報科学部情報科学科准教授）  
伊藤 正英（愛知県立大学情報科学部情報科学科講師）
  6. 対象：愛知工業高校情報技術科 3 年、2 年、関係教職員
  7. 概要：愛知工業高校からの依頼により、同高校の 3 年生が 6 チームに分かれて年間を通して学んだことを発表する、課題研究発表会に本学教員がコメントーターとして参加し、生徒の研究発表を講評した。
- (次 第) 1.ウェブデザイン→2.資格取得 →3.LEGO&マイコンカーの製作  
→4.ソフトウェア開発→5.FA システム→6.玉入れ競技ロボットの製作

【会場の様子】



【生徒の作品】



【講評の様子】



## (6) あいち地域づくり連携大学

### 「あいち地域づくり連携大学」 実施結果 (愛知県振興部との共催、愛知県立大学・名古屋市立大学連携事業)

#### 1. 開催日及び各回テーマ：

	開催日	テーマ
第1回	10月7日(水)	自治会に求められる役割とは
第2回	10月21日(水)	なぜ自治会の加入率は低下しているのか
第3回	11月11日(水)	今のライフスタイルに合わせた自治会活動を考える
第4回	11月25日(水)	自分が行う自治会(地域)活動

#### 2. 会 場：大府市歴史民俗資料館 2階多目的ホール

#### 3. 参加者数：第1回 31名 第2回 36名 第3回 37名 第4回 42名

#### 4. 事業概要：

『地域力』の基礎となる自治会について、加入率の向上や活動の活性化を、地域、学生、行政職員により、大府市を舞台に具体的に検討を行った。

#### 5. 事業の様子：

【第1回】



【第2回】



【第3回】



【第4回】



## (7) 愛知県地域づくり活動フォーラム

### 「愛知県地域づくり活動フォーラム」 実施結果 (愛知県振興部との共催)

1. 日 時：平成 28 年 1 月 29 日 (金) 14:00～16:30
2. 会 場：長久手キャンパス K 棟 多目的ホール
3. 参加者数：約 105 名
4. 当日のプログラム：
  - ①平成 27 年度愛知県地域づくり活動表彰式及び事例発表 (2 団体)  
「吉良あないびとの会 (西尾氏)」  
「特定非営利活動法人こまき市民活動ネットワーク (小牧市)」
  - ②愛知県立大学 学生グループ「T ボラネット」による活動報告  
・テーマ「現在の東北から得たもの」～南海トラフ大地震を見据えて～  
・発表者 青木 ひかり (愛知県立大学日本文化学部歴史文化学科 4 年)  
永井 杏 (愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科 2 年)
  - ③講演「自分たちのまちは自分たちで創る」～朝来市の地域協働のまちづくり～  
講師：馬袋 真紀 氏 (兵庫県朝来市市長公室総合政策課上席主査)
5. 会場の様子：

【活動表彰式】



【事例発表】



【学生グループによる活動報告】



【馬袋氏講演】



## 【地域の多様な団体との連携】

### (1) 長久手市大学連携推進協議会への参加

#### 長久手市大学連携推進協議会への参加について

長久手市と市内 4 大学（愛知県立芸術大学、愛知医科大学、愛知淑徳大学、愛知県立大学）は、まちづくりにおいて、大学が有する知的資源や特色を活かし、学術研究の場や機会を大学に提供するなど、相互の発展や充実に向けて組織的な連携を深めることにより、「人が輝き 緑があふれる 交流都市」としてふさわしい地域社会づくりに資することを目的として、平成 24 年 12 月 20 日に長久手市大学連携推進協議会を設置しました。

本協議会の主旨に基づき、平成 27 年度は以下の事業を実施いたしました。

#### ○協議会の開催（部長級により組織）

第 1 回 平成 27 年 4 月 27 日（月） 第 2 回 平成 28 年 10 月 28 日（水）

#### ○協議会連絡調整会議の開催（課長級により組織）

第 1 回 平成 27 年 5 月 25 日（月） 第 2 回 平成 28 年 2 月 12 日（金）

#### ○長久手市大学連携基本計画策定に向けての参画及び協力

「長久手市大学連携基本計画」の平成 28 年度中の策定に向けて、策定のスケジュールや素案作成等、計画の当初から中心的に策定を担う教員として、松宮朝准教授（教育福祉学部社会福祉学科）を推薦した。

#### ○市長秘書インターンシップ

市長の秘書業務を通じて、市の実情や市政運営への理解促進、通学する地域への愛着を育むとともに、将来に向けた職業観の醸成と社会体験を目的として、市内 4 大学よりインターンシップ生の募集を行った。

多数の応募の中から、本学より 1 名が採用され、1 週間のインターンシップに参加した。

#### ○大学連携提案助成金事業

長久手市の活性化に向けて大学と行政が連携し、地域の課題の解決及び地域の魅力の向上を目的として実施する事業に取り組む市内 4 大学（研究室・学生）を対象に、助成事業の募集を行った。

本学からは 2 団体が応募し、採択された。（ただし、取組の過程で助成金を利用する必要が生じなかったため、2 団体とも事業は実施したが助成金の利用は行わなかった。）

#### ○相互の企画事業の周知協力

#### ○その他関係各課からの依頼の窓口業務



## (2) 産業界との連携事業

### 長久手市商工会パソコン講習会実施結果

(長久手市商工会との共催)

1. 日 時：平成 27 年 6 月 3 日 (水) 14:30～16:00
2. 会 場：長久手キャンパス C 棟コンピューター演習室 5
3. 参 加 者：長久手市内の小規模事業者 計 5 名
4. 目 的：小規模事業者のレベルアップを図るため、パソコン講習会を実施
5. 講師及び内容：  
講師：愛知県立大学情報科学部 1、2 年生 (テキスト作成) (PBL (授業) として実施)  
内容：エクセルコース  
ムービーメーカーコース
6. 会場の様子：

【開講式】



【講習風景】



【講習風景】



## 瀬戸商工会議所パソコン講習会実施結果

(瀬戸商工会議所との共催)

1. 日 時：平成 27 年 6 月 3 日（水） 16:10～17:40
2. 会 場：長久手キャンパス C 棟コンピューター演習室 5
3. 参 加 者：瀬戸市内の小規模事業者 計 8 名
4. 目 的：小規模事業者のレベルアップを図るため、パソコン講習会を実施
5. 講師及び内容：  
講師：愛知県立大学情報科学部 1、2 年生（テキスト作成）（PBL（授業）として実施）  
内容：エクセルコース  
ムービーメーカーコース
6. 会場の様子：

【開講式】



【講習風景】



【講習風景】





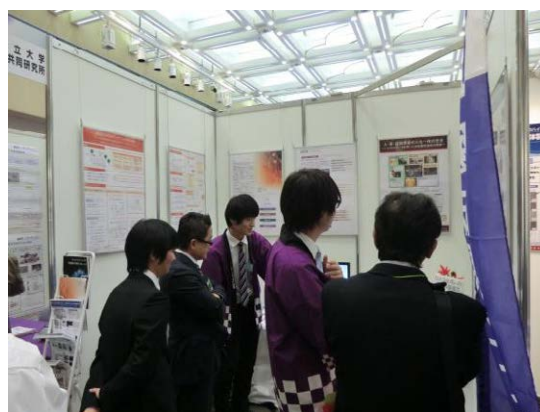
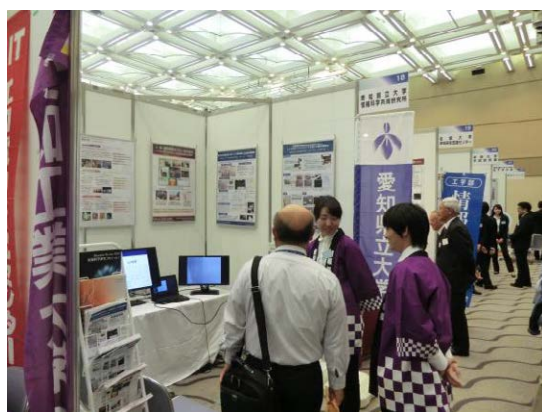
## フロンティア 21 エレクトロニクスショー2015 出展報告

1. 日 時：平成 27 年 11 月 11 日（水）・12 日（木） 各日 10:00~17:00
2. 会 場：名古屋国際会議場 4 号館 1 階白鳥ホール
3. 出展規模：28 企業・大学・機関 49 小間
4. 来場者数：  
11 月 11 日（水） 902 名（展示会 418 名・セミナー 484 名）  
11 月 12 日（木） 441 名（展示会 221 名・セミナー 220 名）  
合計 1,343 名（展示会 639 名・セミナー 704 名）

### 【フロンティア 21 エレクトロニクスショーの大学ブースの出展状況】

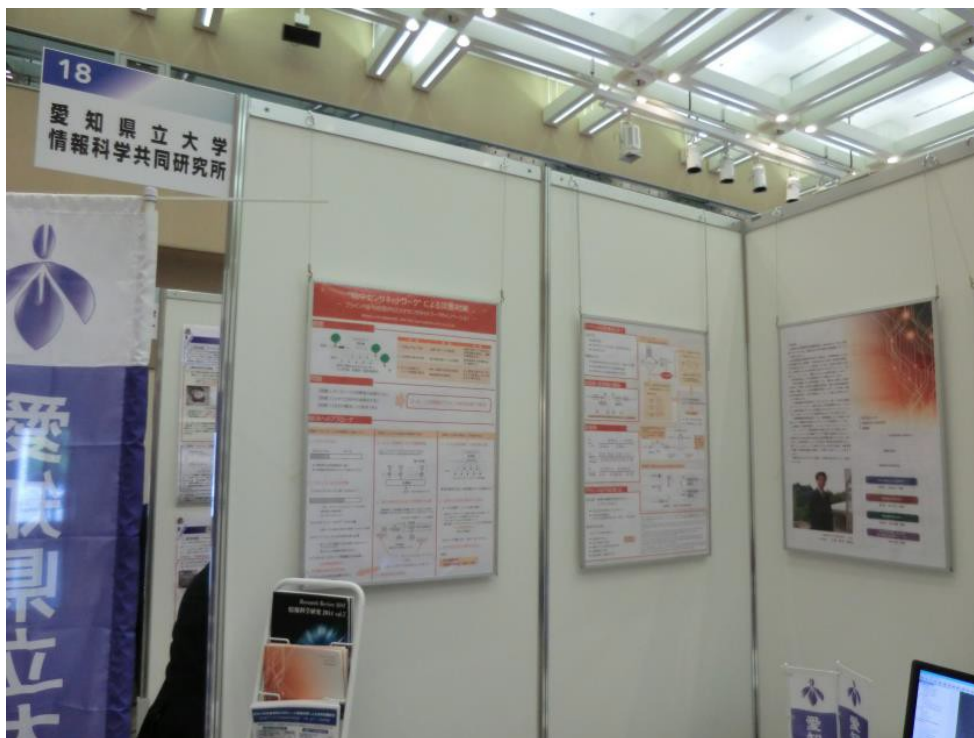


### 【情報科学共同研究所ブースでの状況】

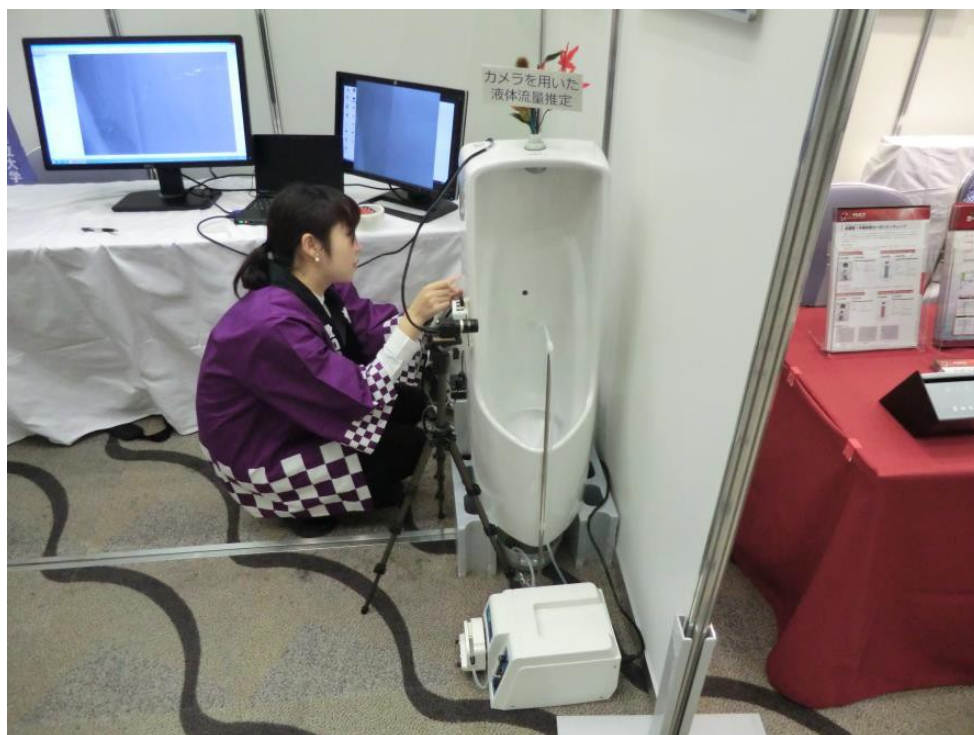


研究所ブースでの説明は、小栗・河中・入部研究室および神谷研究室の学生が対応しました。

【出展物 1 (小栗・河中・入部研究室及び神谷研究室、研究所のパネル)】



【出展物 2 (2つのカメラを用いた流量測定技術)】



## あいち ITS ワールド 2015 への出展 実施結果

情報科学共同研究所は、愛知県 ITS 推進協議会主催の「あいち ITS ワールド 2015」（名古屋モーターショーとの同時開催）に出展しました。

1. 日 時：平成 27 年 11 月 20 日(金)～23 日(月) 9:00～18:00（金のみ 10:00 ～）
2. 会 場：ポートメッセなごや（名古屋モーターショー併催）
3. 来 客 数：203,500 名（4 日間会場全体、名古屋モーターショー含む）
4. 出展メンバー：小栗 宏次（愛知県立大学情報科学部情報科学科教授）  
河中 治樹（愛知県立大学情報科学部情報科学科准教授）  
職員と学生
5. 出展内容

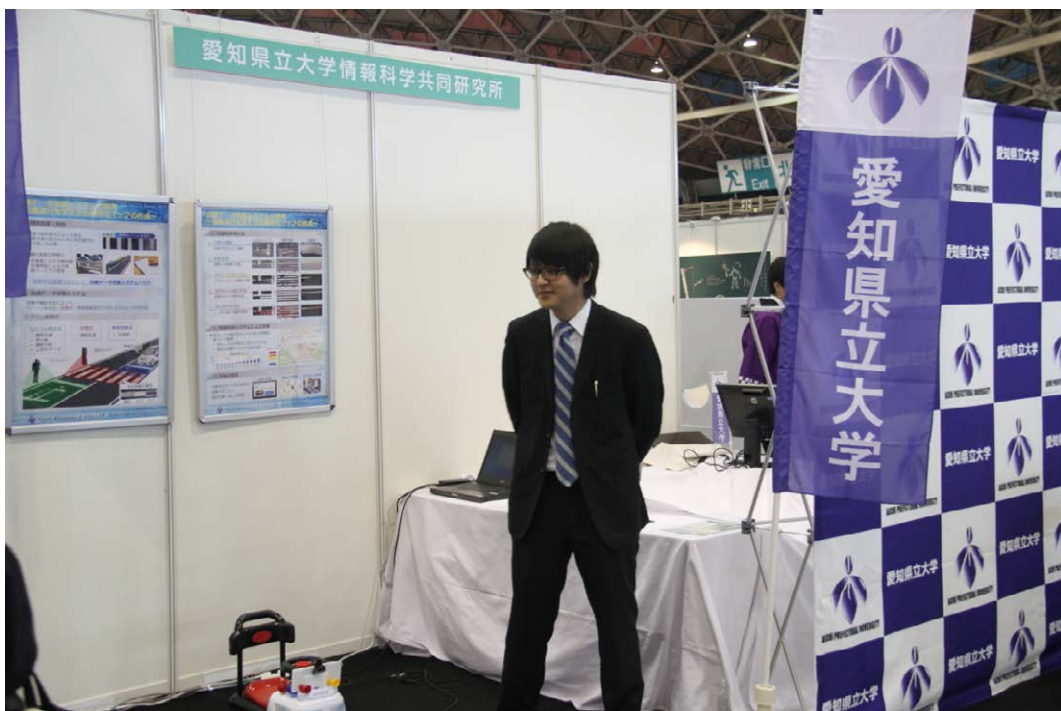
【会場入口】



【県大ブース】



(ア) 白線データ収集システムの紹介(小栗・河中研究室)





(イ) 運転中の指差し呼称による安全確認の紹介(小栗・河中研究室)



(ウ) バイタルデータを用いた状態推定技術 (小栗・河中研究室)



(エ) 実映像型運転評価シミュレータ Feely(COI ブース 小栗・河中研究室)



## 6. ITS 討論会に参加

学生によりブースの展出内容の紹介と ITS 専門家との討論をおこないました。

- ・ 情報科学部 4年 石野 友美





#### 第4回 APU 情報科学セミナー 実施結果

1. 日 時：平成 27 年 5 月 12 日（水） 14:00～15:00
2. 会 場：長久手キャンパス C 棟 1 階会議室（C107）
3. テ ー マ：次世代モビリティと ITS
4. 概 要：次世代モビリティと ITS というテーマで、東京大学生産技術研究所次世代モビリティ研究センターの 3 名講師（大口 敬 教授、小野 晋太郎 特任准教授、中野 公彦 准教授）より、それぞれの現在の取組と今後の展望について語っていただいた。
5. 参 加 者：20 名(学生 15 名、教職員 5 名)  
世 話 人：小栗宏次（愛知県立大学 情報科学部 情報科学科 教授）  
情報科学共同研究所所長小栗教授の開会の挨拶の後、大口氏、小野氏、中野氏の順に講演があり学生 15 名と教職員 5 名、計 30 名の参加があった。それぞれの講演の後には、質疑の時間あり、数名の学生と教員から質問があり、有意義な時間でした。
6. 講 師：東京大学 生産技術研究所 次世代モビリティ研究センター 教授  
大口 敬 氏
7. 演 題：都市部における道路公共交通運用の高度化



開会の挨拶（小栗教授）



大口氏のご講演



大口氏のご講演





質疑応答の時間（大口氏および質問者）

8. 講師：東京大学 生産技術研究所 次世代モビリティ研究センター 准教授  
小野 晋太郎 氏
9. 演題：ITSのためのセンシング・モデリング表現技術



小野氏のご講演



10. 講 師：東京大学 生産技術研究所 次世代モビリティ研究センター 准教授  
中野 公彦 氏

11. 演 題：モビリティにおける計測と制御



中野氏のご講演



集合写真（講師および参加者）

## 第5回 APU 情報科学セミナー 実施結果

1. 日 時：平成 27 年 6 月 19 日（金） 13:30～14:50
2. 会 場：長久手キャンパス C 棟 1 階コンピュータ演習室 1（C106）
3. テー マ：パワーバリアレス社会への挑戦
4. 概 要：高齢社会の進展に伴い、日本国内では労働者不足の問題が大きなものとなりつつあります。アクティブリックは 2003 年の創業以来、老若男女の力の面での差がない社会、パワーバリアレス社会の実現に向けて活動しています。創業以来の当社の取り組みについて、失敗事例なども交えて紹介します。
5. 参 加 者：22 名(学生 17 名、教職員 5 名)  
世 話 人：村上和人（愛知県立大学 情報科学部 情報科学科 教授）  
愛知県立大学情報科学共同研究所所長小栗教授の開会の挨拶、世話人の村上教授の講師紹介の後に、藤本 弘道 氏の講演があり 17 人の学生と 5 人の教職員、計 22 名の参加があった。最初に動画による説明があった。講演の後には、質疑の時間あり、学生と教員から質問があった。有意義な時間でした。
6. 講 師：アクティブリック株式会社 代表取締役社長 藤本 弘道 氏



講演風景（32面ディスプレイで動画による説明風景）



藤本氏のご講演



質疑応答の時間

## 第6回 APU 情報科学セミナー（第1回 Matlab セミナー） 実施結果

1. 日 時：平成27年7月21日（火） 13:00～17:30
2. 会 場：長久手キャンパス C棟 1階 会議室（C107）
3. プログラム：

◆13:00～14:30 MATLAB 入門「対話的なデータ解析と多変量統計解析」

MATLAB は、アルゴリズム開発、データの可視化、数値計算を行うためのユーザフレンドリーなテクニカルコンピューティング言語と対話型環境です。本セミナーでは電力需要の時系列データを一例として、一般的なデータ分析の流れをご紹介します。

◆14:40～16:10 MATLAB 基礎「MATLAB プログラムの高速化と並列化」

MATLAB プログラムの実行速度はその書き方によって大きく変化します。全く同じ処理を行うプログラムでもその書き方次第で 100 倍以上の速度差が生じることも珍しくありません。本セミナーでは、ベクトル化などの基本的な高速化の手法から始めて、プログラムの並列化や GPGPU の活用方法についてご紹介します。

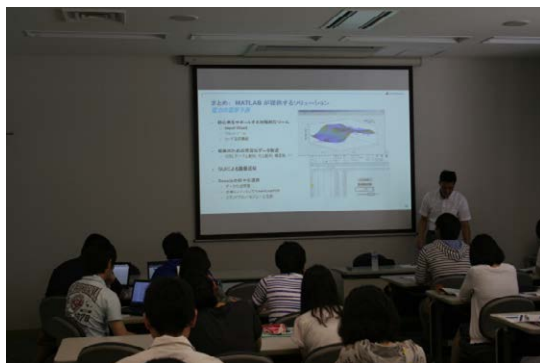
◆～17:30（セミナー終了後）技術的な質問や相談コーナー

4. 参加者：34名（学生32名、教員2名）

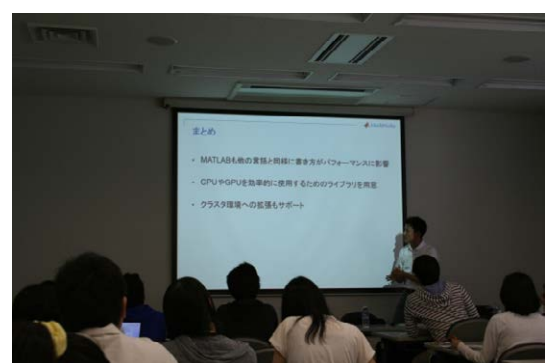
世話人：河中治樹（愛知県立大学 情報科学部 情報科学科 准教授）

河中准教授のセミナー開会の挨拶の後に、マスワークス 吉田 剛士氏による2つのセミナーが開催された。32人の学生と2人の教職員、計34名の参加があった。実演の説明はわかりやすく、セミナー終了後には技術的な質問や相談コーナーの時間があり、有意義な時間でした。

5. 講師：マスワークス 吉田 剛士氏



マスワークス 吉田氏のご講演



セミナー風景



## 第7回 APU 情報科学セミナー 実施結果

1. 日時：平成 27 年 12 月 16 日（水） 14:20～16:30
2. 会場：長久手キャンパス C 棟 1 階会議室（C107）
3. 演題：soft-thresholding 推定量に対する適応的スケーリングについて
4. 概要：本研究では、ノンパラメトリック直交回帰に対する soft-thresholding 法に対して、推定量のスケーリングを導入することを提案する。この枠組みは、機械学習におけるスパース学習法として知られる LASSO の特別な場合に対応し、信号処理分野においては wavelet denoising を含むものである。ここでは、component-wise かつ data-depenent に適切な値を決めるといふ意味で適応的なスケーリングを導入した下でのリスクを導出するとともに、リスクの挙動を調べた。この結果、スケーリングの導入により、ナイーブな soft-thresholding 法と比較して、汎化性およびスパース性に優れたモデルが得られる可能性が示唆された。
5. 参加者：13 名（学生 4 名、教職員 7 名、学外者 2 名）  
LASSO(soft-thresholding)の話題や機械学習分野の話題に参加した教員と学生から多くの質問があり、有意義な時間でした。
6. 講師：三重大学 教育学部 准教授 萩原 克幸 氏



萩原氏のご講演



セミナー風景

## 第8回 APU 情報科学セミナー 実施結果

1. 日 時：平成 27 年 12 月 19 日（土）、20 日（日）
2. 会 場：（第 1 日目）SOHO プラザ名古屋貸会議室、（第 2 日目）サテライトキャンパス
3. 内 容：研究会タイトル「地球観測データの統合・融合化に関する研究会」

地球観測衛星による陸域観測結果の相互校正に関する課題などについて、高知大学および産業技術総合研究所リモートセンシング研究グループらの研究者らとともに、最新の研究動向および今後の展望について検討を行った。まず第 1 日目（12/19）には当研究室から 2 名が当該研究テーマに関するこの 1 年における研究活動の成果について紹介し、話題提供を行った。その後、産業技術共同研究者の岩男弘毅研究グループ長および小畑建太研究員らからハワイ大学との共同研究に関する成果を中心とした話題提供があった。4 件目の話題提供者として高知大学松岡如真准教授から解像度依存性や角度依存性に関する 3 件の研究テーマに関する成果報告があった。その後、参加者全員によるディスカッションを行った。第 2 日目（12/20）はサテライトキャンパスにて 2 件の話題提供があり、参加者によるディスカッションの後、研究会を終えた。参加者数は本学の学生を加えた合計 7 名。
4. 研究会のプログラム：

第 1 日目：12 月 19 日（土）

**【第 1 部：話題提供】**

13:30～13:50 「地球観測衛星による陸域観測結果の相互校正に関する課題とアプローチについて」  
愛知県立大学 吉岡研究室

13:50～14:10 「地球観測データの解像度・角度依存性と統・融合化におよぼす影響について」  
高知大学農学部 松岡研究室

14:10～14:30 「MODIS と VIIRS の植生指数データレコードの相互校正に関する研究」  
産業技術総合研究所 リモートセンシング研究グループ

**【第 2 部：パネルディスカッション】** 岩男先生、小畑先生、松岡先生（司会：吉岡）

14:30～16:00 「テーマ 1：地球観測データ統・融合化に関する研究課題と研究動向の現状」

16:00～17:30 「テーマ 2：地球観測データ統・融合化に関する行政・民間の動向と今後の方向性」

17:30 （懇親会）

第 2 日目：12 月 20 日（日）

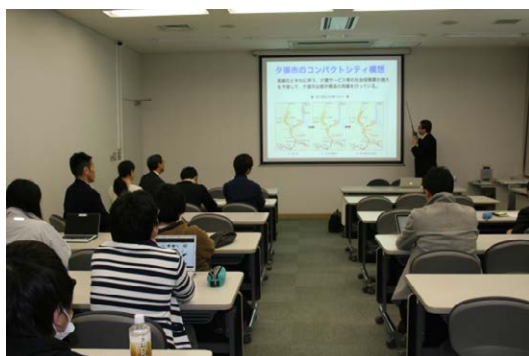
**【第 3 部：共同研究者会議】** 於：愛知県立大学サテライトキャンパス

9:00～11:00 「衛星データレコード標準化に関する問題点およびその対策について」  
共同研究者および研究協力者

## 第10回 APU 情報科学セミナー 実施結果

1. 日時：平成28年2月16日（火） 14:00～15:00
2. 会場：長久手キャンパス C棟1階会議室 101教室
3. 講師：国立研究開発法人国立長寿医療研究センター  
健康長寿支援ロボットセンター長 近藤 和泉 博士
4. 演題：健康長寿支援ロボットの現状と課題
5. 参加者：学生10名、教職員6名 計16名  
高齢化に取り組む自治体コンパクトシティ構想、住みにくい街の再開発の話から始まり、健康長寿支援ロボット現状と課題についてのご講演をいただきました。

学生10名、教職員6名の合計16名が参加しました。



セミナー風景



セミナー風景



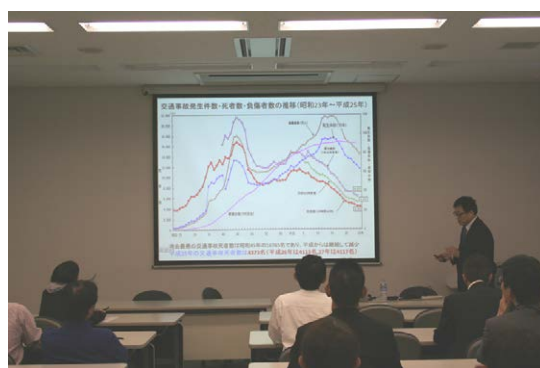
参加者の集合写真



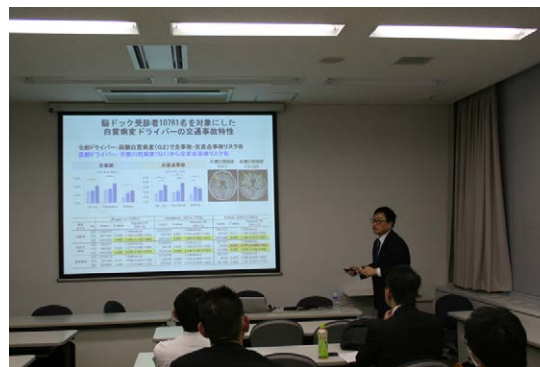
## 第 11 回 APU 情報科学セミナー 実施結果

1. 日 時：平成 28 年 3 月 11 日（金） 16:00～17:00
2. 会 場：長久手キャンパス C 棟 1 階会議室 101 教室
3. 講 師：高知工科大学客員教授 脳科学者 朴 啓彰 教授
4. 演 題：MRI データと危険運転行動
5. 参 加 者：学生 8 名，教職員および学外者 10 名 計 16 名

交通死亡事故発生件数・死者数・負傷者数の推移の話から始まり、MRI データと危険運転行動についてのご講演をいただきました。学生 8 名、教職員 5 名、学外より 5 名の合計 18 名が参加しました。教員および学外からの参加者から多くの質問がありました。



セミナー風景



セミナー風景



参加者の集合写真

## NEXT COMMUNICATION AWARD 2015 で、愛知県立大学の学生が多数表彰されました

NEXT COMMUNICATION AWARD 2015 において、愛知県立大学の学生 10 名がアプリ開発協賛部門、アプリ開発フリー部門で受賞しました。うち、アプリ開発フリー部門では、2 チームが準グランプリを獲得しました。

詳細は、下記のとおりです。

※氏名掲載者は、いずれも愛知県立大学の学生。

### ○アプリ開発部門

#### 【募集内容】

iOS、Android™ OS で動作するネイティブアプリか、HTML5 を使った WEB アプリケーション

#### ■フリー部門

【テーマ】生活がもっとスマートになるアプリ

#### ◆準グランプリ

##### ココログ

チーム名：エムイチーズ 藤澤 洋佑、秋元 健吾、森田 賢徳

スマホを使って「ココロの健康度」を測定・把握・振り返る事で、生活をもっとスマートにしてくれるアプリです。

具体的には、マイクに息を吹きかけ肺活量を測定した後、スマホを聴診器に見立て胸に当てる事で、「アクティブ、スッキリ、ハッピー、トキメキ」の4指標で「ココロの健康度」が表示されます。4指標の算出には独自のアルゴリズムが用いられている点が特徴的なアプリです。

【画面例】



## ◆準グランプリ

### FiTogether

チーム名：アプリコッタ 磯村 淳、跡見 健吾、本多 千鶴

周囲の人の運動状態を確認しながら一緒にフィットネスを楽しむ事を目的としたアプリです。

「じぶんのきろく」では自身の運動状況が確認できる事はもちろんの事、クラウドサーバーとの接続を活用した「みんなのきろく」では、最大4名の運動状態を同時に確認する事ができます。アイコンでそれぞれの頑張り度合を一目でわかるような工夫も施されています。

### 【画面例】



## ◆入賞

かざして食品検索

額田 蓮

## ■協賛部門

【テーマ】展示物やプラネタリウムをより良く楽しむためのアプリ

協賛：名古屋市科学館

## ◆優秀賞

名古屋市科学館アンサーラリー チーム名：あさらっしー 宮下 裕生、岸 稚佳、石野 友美

## その他の産学連携活動

### ○ガジャマダ大学産学連携プロジェクト

愛知県立大学は、インドネシアの古都ジョグジャカルタに所在する基幹大学であるガジャマダ大学と、相互に蓄積してきた専門性を活かして、経済成長著しいインドネシアに進出する現地日本企業で活躍しうる次世代の人材を育成するための産学連携事業を行っています。

プロジェクトの詳細は、愛知県立大学発行の「ガジャマダ大学産学連携プロジェクト」報告書をご覧ください。

## 5. 参考資料

### ○地域連携センター ウェブサイト

ウェブサイトアドレス <http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei>

地域連携センターの概要や活動報告、これから開催する講演会、講座等の情報を PC 版及びスマートフォン版で提供しています。

平成 27 年より、申込が必要な講座については、申込手続を円滑に行って頂けるよう、講座申込フォームを開設いたしました。

今後も、より見やすく、分かりやすく講座情報等を提供するため、更なる内容の充実や利便性向上に努めてまいります。

当センター年報のアーカイブも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。





平成28年3月発行

編集・発行 愛知県立大学地域連携センター

愛知県長久手市茨ヶ廻間1522-3

電話:0561-76-8843

<http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei>